カトリック河原町教会だより
2017年1月

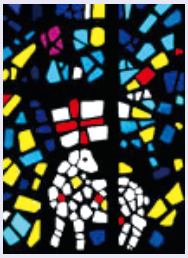
「ベルヴェデーレの聖母」（牧場の母）ラファエロ画

新しい年を「光のうちに神と共に」

『我らの神の憐れみによって
高い所からあけぼのの光が我らに訪れ、
暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、
我らの歩みを平和の道に導く。』

ルカによる福音１章78―79節

2017年　河原町教会は「新聖堂建立50周年」を迎えます



[予定記念行事]

2017年3月19日	（日）	「マタイ受難曲コンサート 」	河原町教会聖堂
6月17日	（土）	「記念ミサ」	明治村旧聖堂
6月18日	（日）	「新聖堂献堂５０周年感謝ミサ」	河原町教会聖堂
7月　2日	（日）	「パイプオルガンコンサート」	河原町教会聖堂

イエスと生きる

洛東ブロック担当　　ホセ・モンロイ神父

新年おめでとうございます。2017年が始まりました。

私たちが神様の「まなざし」のもとに生きるならば、この年も幸せな一年となるでしょう。しかし、もし私たちの計画や思いが神様から離れるなら、私たちは真の幸福に与れないでしょう。

忘れないでほしいのですが、真実は、私たちが生きている「今」という瞬間の中にあります。神様が望まれるように私たちの生活のあらゆる瞬間において、いつも神様の御心を果たすためには注意深く生きることが大切です。これこそが真の幸福の源となるでしょう。

時に私たちは忘れてしまうのですが、私たちの主は、私たちの全てを知っておられ、私たちの存在の所有者であり原点です。私たちは、自分の人生を一瞬でも延ばしたり縮めたりすることはできません。そこで、私たちは「主の前に静かに生きてみよう」と、神様の手の中に私たちの人生、生活を置くのです。

また新年に、私たちの家族、友人や知人の幸せを願うことは伝統的でとても良い習慣です。ただ私たちにとって一番大切なことは、神様、聖母マリアと聖人に祈りながら「イエスと共に」生きていくことです。それを忘れないようにしましょう。

今、私たちは「時間」というものをよりどころとし、その中で生きていますが、実際は、人の望みと幸福は時間さえ超えるものです。キリストを信じる者として、私たちは真に「本物である」と信じるものの中で生き、行動する必要があります。

私は、主が皆さんの上に真の幸福を与えてくださるように、2017年が幸せでありますようにと願っています。皆さんがこの世の旅において幸福であり、そして、いつもイエスと聖母マリアが皆さんと共に歩んでくださることを祈ります。

「注意深く、主を待ち望む」

待降節黙想会に ～カルメル会 中川博道神父を迎えて～

待降節第1主日の前日の土曜日、11月26日に教会主催待降節黙想会が行われました。カルメル会の中川博道神父が「注意深く、主を待ち望む」というテーマで、指導してくださいました。

■なぜ、今「黙想」なのか

最近、NHKなどでも、瞑想法の一つである「新瞑想法」(マインドフルネス)というものが注目され、勧められています。それは、集中力を高め、想像力を引き出し、人間の健康に効果があるストレス対処法の一つであることが、科学的にも実証されてきています。

瞑想や黙想の根本的な意味、目ざすところは、「注意深くあること」、「散漫に生きていないこと」です。誰かと会っている時に携帯を見るとか他のことをしていると、目の前にいるその人と出会えません。長く一緒に生活している家族でも同じです。今ここにいる人に、今の自分の状態に、今生きている世界に、「注意深く」あることを通して、本当に自分らしく、きちんと生きていくことが大切です。そのために、黙想は大きな助けになると言えるでしょう。

■目覚めているということ

復活徹夜祭がなぜ徹夜なのかというと、ルカ12章にあるように、「主に出会うためにいつも目覚めていなさい」と勧められているからです。目覚めているということは、今の現実の中で、神がどうわたしに語りかけ、どうわたしに出会おうとし、今どんなふうにわたしに呼びかけをしておられるのか、注意深くあることです。過去や未来にとらわれず、「今ここにイエスがわたしと共におられる現実」に立ち戻ることです。時間、空間から解き放たれた存在である方、イエスと共に生きることに、注意深く目覚めていたいものです。

■黙想において大切にしたいこと

神は遠慮深い方なので、神と出会うためには、わたしたちが問いかけ、捜さなければなりません。そのために次の4つのことが大切です。まず「今、ここで」共におられるイエスに謙遜に話しかけ過ごすこと、次に「あなたならどうなさるのですか」といつもイエスに問いながら生きていくこと、また、小さな目立たないことをイエスのためにささげながら生きること、そして、イエスと一緒にいながら友情を深めていくことです。

■「あなたはだれを捜しているのか」

いつくしみの特別聖年を過ごしたわたしたちは、待降節から始まる新しい年をどう過ごしていくのかが問われています。ヨハネ18章で、イエスは逮捕される時、「だれを捜しているのか」と言われ、復活の朝、マグダラのマリアにも同じことを問われます。

この一年、わたしたちは「人生において、あなたはだれを捜して生きているのか」と問い続けられてきました。第二バチカン公会議閉幕50周年の節目の年に設けられた特別聖年は、今の教会の困難な時期に、わたしたちが捜し求めていくのは「いつくしみのみ顔」であることをあらためて教えてくれました。

■神との出会い

十数万年の長い人類の歴史の中で、

わずかこの200年で人口は5倍に急増し、科学技術も急速に進歩しました。その中で、神を見失うこと、心の深みで神とのつながりを持たないで生きていくことは、本当の意味で死に至ること、絶望することだと一人の哲学者が言っています。

内面を掘り尽くす、心の深みを極めていくことの中に、本当の救い、幸せがあります。人が救われるのは、外面の世界を変えることだけでなく、わたしたちの存在の根底である、「あわれみそのもの」である方に立ち戻り、その方に出会うことです。その方は、あるがままのこのわたしを赦し、いつくしみ、受け入れてくださる方なのです。

■飼い葉おけに眠る幼子イエス

ルカ2章にあるイエスの誕生の箇所で、羊飼いたちは「飼い葉おけに眠る乳飲み子」を見出しました。飼い葉おけという家畜の食べ物を置く場の中に、ご自分を「食べられるもの」として差し出す幼子の姿で神は来てくださいました。わたしたちの愛だけを願う無防備な幼子の姿は、神の本質を表しています。

待降節は、このわたしに「食べられてでも一緒にいたい」と来られる方を待つ時です。その方をどう迎え、どう向き合っていくか。本当の幸せを見つけるために、注意深く、わたしたちの中におられる方に立ち戻っていきましょう。

(講話要約:教育部担当者)

洛東ブロック「青年のためのミサ」に集う

11月27日（日）午後3時から、洛東ブロック「青年のためのミサ」が行われました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、スタッフを入れて35名の青年たちが集い、キム神父司式のミサに与りました。ミサでの奉仕は参加した青年たちで分担し、心を合わせて祈りました。

ミサの後は、ヴィリオンホールで軽食やお菓子をいただきながら、6人ずつのグループに分かれて「分かち合い」を行いました。テーマは「今日教会に来たきっかけは」「教会に何を求めるか」等で、久しぶりに教会に来た青年もたくさんいて、みんなで和気あいあい、なごやかな楽しいひとときを過ごしました。　（教育部　奥埜さと子）

1月の聖人暦から　聖テモテ / 聖テトス［1月26日］

2人は聖パウロの弟子であり、協力者でした。テモテは、リストラ（現在のトルコ）でギリシア人の父とユダヤ人の母を持ち、信仰深く育てられました。パウロの第2回宣教旅行に同行し、マケドニアに行き、その地方の教会のために力を尽くしました。またパウロの第3回宣教旅行の時にもパウロを支え、フィリピ、コリント、エフェソで宣教しました。その後、テモテはエフェソ教会の初代司教となって活躍しましたが、ローマ皇帝ドミティアヌスのキリスト教迫害下に殉教したと伝えられています。

テトスは、アンテイオキア（現在のシリア）から、パウロとバルナバと共にエルサレムの公会議に出席した、とガラテア書に書かれています。彼は、パウロによってコリント教会に派遣され、当時分裂問題が起きていた教会の和解に努めました。温和な人柄で、パウロがテトスによってどれだけ慰められたかは、コリント教会への手紙に記されています。その後、テトスはクレタ島の司教となり、ダルマチア（現在のユーゴスラビア）に派遣され、パウロの殉教後は、クレタ島で最後まで宣教活動をしたと言われています。

（参考：女子パウロ会HP）

河原町教会12月4日評議会議事録要約

司祭団から＝①クリスマス関連行事への協力をお願いします。「クリスマス市民の集い」の司式は大塚乾隆助祭 ②12/31(土)主日のミサあり。1/2と1/3は事務室休業 ③「京都教区司教座聖堂献堂記念日」ミサは12/3に行われる。④12/10合同典礼委員会で2017年度ブロック司教ミサ(伏見教会)・平和旬間合同ミサ・聖週間の侍者担当等について協議の予定

「いつくしみの扉」閉門ミサ＝大塚司教司式でYES青年が約30名参加、ミサ奉仕と「分かち合いの発表」を行い、無事終了した。

各部会報告＝⑴**典礼部**＝①12/10（土）11:00「子羊会」創立60周年感謝ミサ②12/10・14:00ブロック合同典礼部会開催③1/8の10:30ミサ後に侍者・献金係・聖歌隊の新年会予定⑵**財務部**＝11月部会報告：①2017年度5部会提出予算案の検討②2016年度決算・2017年度予算の説明⑶**教育部**＝❶**土曜学校：**12/10終業式とクリスマス会（中高生も参加）❷**中高生会：**12/24クリスマスパーティー予定❸**信徒養成：**①11/26待降節黙想会参加者は約130名で終了②「主日の福音を読む集い」（毎日曜9:30）❹**青年：**①11/13「いつくしみの扉」閉門ミサに参加　11/27の「ブロック青年のためのミサ」と交流会の参加者は35名❺**ブロック合同教育部会：**次回1/22・14:00予定❻**キリシタン研究会：**①11/20「亡くなられた会員追悼ミサ」をした(小川神父司式)②2/11「日本二十六聖人記念ミサ」開催予定❼**ザビエル訪れ会：**「クリスマス市民の集い」アンケート回答者訪問を行う予定⑷**施設管理部**＝11/26に門のクリスマスアーチ設置。12/3に電飾の取り付け完了⑸**広報部**＝ウェブサイト「教会について」欄の新しい内容案を提出した。

行事予定＝4ページ行事予定欄に記載

協議事項＝⑴**2017年度役員選挙**：2017年度選出者は3名のうち被推薦者1名で、現時点で2名欠員⑵**2016年度会計決算**：祭式献金も一般献金も減少で状況は厳しい。⑶**クリスマス実行委員会から**：12/18・10:30ミサ後「クリスマス市民の集い」の栞の挟み込み作業予定⑷**新聖堂建立50周年記念行事実行委員会から**：①記念行事の祈りとスローガンを決定する。②記念行事に関する特別行事を予定③教会の補修と整理を実施 ④「教会だより」6月・7月号発行⑤聖歌番号表示モニターを新調する。⑥趣意書を作成し、特別献金を募る。

その他＝①右近列福式のバス予約空席(約5割)について、ブロック内他教会にも呼びかける。②『右近と歩む祈りの旅』を用いての「集い」を予定、計画中

［門の聖句］

「光は暗闇の中で輝いている」

ヨハネ 1・5

◇　2017年 1月・2月の行事予定　◇
（2月は予定です。変更の場合があります）

月	日	曜日	行　事　予　定
1	1	日	神の母聖マリア　元日ミサ 7:00・10:30　世界平和の日
	8	日	主の公現　評議会1月例会 10:30ミサ後
	9	月	主の洗礼
	18	水	～25日　キリスト教一致祈祷週間
	22	日	河原町教会総会　10:30 ミサ後　（ヴィリオンホール）
	28	土	洛東ブロック会議（山科教会）
	29	日	村上透磨神父霊名(トマス･アクィナス1/28) のお祝い10:30ミサ 教会美化デー　カトリック児童福祉の日
2	2	木	主の奉献
	5	日	評議会2月例会　10:30ミサ後
	7	火	ユスト高山右近列福式 12:00（大阪城ホール）
	11	土	26 聖人殉教者顕彰ミサ 14:00（西陣教会）　世界病者の日
	26	日	故溝部脩名誉司教 1年祭追悼ミサ 14:00（西陣教会）

河原町教会　ミサの時間

日曜日（主日のミサ）
7:00
10:30
＊英語ミサ 12:00（第2・4週）

月曜日	6:30	
火曜日	6:30	18:30
水曜日	6:30	18:30
木曜日	6:30	
金曜日	6:30	18:30
土曜日	6:30	
	18:30（主日のミサ）	

◆12月10日（土）に“土曜学校のクリスマス会”が行われました◆

毎年、子どもたちが待ちわびている、クリスマス会が行われました。「子どもとともにささげるミサ“クリスマスバージョン”」の後、小学生による「ご降誕劇」、中高生会による「イントロクイズ」、そして楽しい「プレゼント交換」など、少し早いクリスマスを保護者の方と一緒にお祝いしました。　（教育部　奥埜さと子）

「高山右近列福式」が近づきました

日時：　2017年2月7日 (火)　正午から
場所：　大阪城ホール(大阪市中央区)
司式：　教皇庁列聖省長官
　　アンジェロ･アマート枢機卿 (教皇代理)

◆ 当日、貸切バスが午前9時30分に出発します。申し込まれた方は、御池通り側、信愛幼稚園前に9時15分までに集合してください。

『右近と歩む祈りの旅～ユスト高山右近の列聖に向けて、8日間の黙想～』（列聖推進委員会版）

この冊子を読み、黙想する、信徒同士の「集い」を計画中です。ご一緒に右近の信仰を学びませんか。
詳細は後日お知らせします。なお、この冊子はカトリック中央協議会HPからダウンロードすることもできます。

◆ ぶどうの会から: 12月11日の手作り品ミニバザーの売り上げ金は計81,050円でした。そのうち75,000円を熊本地震被災者支援として送らせていただきました。ご協力、ありがとうございました。

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇
（1F集会室 /3F応接室）

火曜日10:00（第4･5･祝休）　モンロイ神父(1F)
水曜日10:00　一場 修 神父(1F)
　　19:00（第1･祝休）　一場 修 神父(1F)
木曜日15:00（祝休）　一場 修 神父(1F･3F)
金曜日15:00　シスター庄子(3F)
　　19:15　村上 透磨 神父(1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】 第1水曜日19:00～20:00 一場神父
【山科教会】 毎金曜日9:30ミサ後　モンロイ神父
【伏見教会】 毎火曜日10:00ミサ後～11:30　一場神父
【桃山教会】 第1･2木曜日19:30～20:30　一場神父

◇主日の福音を読む集い◇
（3F･301号室）
毎週日曜日9:30～10:15
※ミサ前にその日の福音を読む集いです。どなたでもお気軽にどうぞ。

◇南部地区信徒養成講座◇
（1F集会室）
北村 善朗神父「祈りを学ぶ」
1月19日(木)　14:00
2月　2日(木)　14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

カトリック河原町教会だより　2017.1
編　集:カトリック河原町教会 広報部　　担当司祭:一場 修
住　所:〒604-8006　京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423
電　話:075-231-4785　ファックス:075-211-8021
URL:http://CatholicKawaramachi.Kyoto
教会公式ウェブサイト　教会公式フェイスブック